



# どっこいしょ

Dokkoisyo



2017.2.1 (水) 第22号

## 友とするに

…徒然草第117段 「友とするに悪(わる)き者」より…



下校時の様子 →

2月に入りました。登校時の生徒の様子を毎朝、正門で見ていると「おはようございます」とあいさつしてくれる生徒が多く、気持ちのよい一日の始まりを感じます。また、8時20分の予鈴に遅れる生徒もほとんどいません。各クラスではすでに「朝の読書」が始まっています。

一方、下校時はというと、昨年末に地域の方から“調子が悪くなった小学生を中学生が家まで送って来てくれました”とお褒めの言葉をいただきました。しかし、“**下校時の中学生の歩きかたが悪い**”というお叱りもあります。特に“**横断歩道のない場所での乱横断**”や“**踏切や道を横に広がって歩いている**”など一般の歩行者、自転車、車にとっては極めて危険で迷惑な行為です。そんな時に注意されれば、**車をよける、素直に謝る、会釈する等の態度が大切です**。毎日一緒に帰る友だちの姿はどうでしょうか？自分自身も含め振り返ってみてほしいと思います。

日一日と日が長くなり下校時刻の時間帯も明るくなってきています。とにかく学校から各家庭に帰るまで安全第一です。

「友」という漢字でふと思い出したのが、**鎌倉時代末期に兼好法師(吉田兼好)**が書いた『徒然草』の一節。

友とするに悪(わる)き者、七つあり

一つには、高くやんごとなき人

(身分が高くて高貴すぎる人)

二つには、若き人

(若くて理解し合えない人)

三つには、病なく、身強き人

(病気知らずで身体が強すぎる人)

四つには、酒を好む人

(酒を飲み過ぎる人)

五つには、猛く勇める兵(つはもの)

(気が荒く勇敢すぎる人)

六つには、虚言(そらごと)する人

(嘘をつく人)

七つには、欲深き人

(欲深い人)

よき友に三つあり

一つには、物くるる友

(物をくれる友)

二つには、くすし

(医者(の)の友人)

三つには、知恵ある友

(知恵のある友)



現代に置き換えて考えてみると、今も700年前の兼好法師の時代でも、考えていることは似ているところがあります。自分自身を振り返って「友とするに……」どうなのかと考えてみることも大切ですね。

3年生はいよいよ入試シーズンが本格化。2月10日(金)には県内私立高校の入試があります。その後、推薦・特色選抜入試、公立出願、3月の公立入試と続いていきます。気が抜けません。

2年生は2月10日(金)に京都東山方面へ校外学習の予定。班行動の計画を立てています。

1年生は2月19日(日)から八チ高原へのスキー実習(二泊三日)を予定しています。どの学年も体調を整えていきましょう。

**※本日2月1日(水)から下校時刻が17:45となります。**

# 友

ユウ、とも

手(ナ)と手(又)を合わせて、手をそえて助ける意味を表す。ひいて、親しむ・ともの意味に用いる。

## インフルエンザの流行に対して

学年だより、HPでもお知らせしているようにインフルエンザが流行しています。

「ほけんだより1月号」でお知らせした内容を今一度紹介しておきます。“免疫力を高める生活をしましょう”

### 1 体温を上げる

「冷えは万病のもと」体を動かしたり、体を温めるものを食べる。

### 2 笑う

笑うことで血圧の調整、脈拍や呼吸を整えてくれます。また体全体の血行がよくなります。

### 3 ストレスをためない

ストレスをためると病原体に対する抵抗力が弱くなります。上手にストレスを発散させましょう。

## 部活動等の記録

【男子バスケット】  
第62回明石市バスケットボール優勝大会 **優勝**  
おめでとう！